

JMFI NEWS

【ジェイエムエフアイ・ニュース】

JAPAN Material Flow Institute

No.25 (2017年9月号)

発行 ● 一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-47-6 202

TEL ● 03-3988-2671 / FAX ● 03-3980-6588

URL ● <http://www.mf-p.jp>

平成28事業年度 事業報告

(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

小池 勉 ●文

JMFI 専務理事

総括

一般社団法人日本マテリアルフロー研究センター (JMFI) は、「社会的なサプライチェーン・物流の全体最適化」を目的として、法人格を取得しました。平成28事業年度においては、年度初めの7月1日以降、法人としての事業の基盤を整備するため、会員募集や事業の準備を進め、11月18日に、52社の当初会員の参加を得て設立総会を開催しました。

JMFIは、産学官が連携して取り組む次世代システムの共同プラットフォームを形成することを志向して、本格的な活動を開始しました。研究課題を設定して研究チームを設け、研究活動とその設定に向けた準備活動を積極的に推進したほか、教育事業、広報および普及啓発事業、統計調査事業などを行いました。

また同時に、会員の拡充のための活動を積極的に行った結果、年度末

の6月までに会員数は72社となりました。同時に、関係行政機関に対し、他に類例のないユニークな法人であることを強調しつつ、ロジスティクスの改善を目指すJMFIの活動について、支援や連携を頂くように依頼しました。

平成28事業年度における、具体的な事業活動の報告を以下に要約して記します。

平成28事業年度 事業報告

◆研究事業

平成28事業年度の事業計画に沿って研究会活動を行いました。途中で見直しを行い、下記①～⑦の事項に関して活動を推進しました。

①シェアリング・ロジスティクス+

IoTによるリアルタイム見える化

本研究会では以下の3件を課題の候補とし、準備が整ったものから分

科会を設け、分科会活動による研究を開始することとした。

- 1) リテール物流におけるシェアリング・ロジスティクス (調整継続中)
- 2) 宅配業務全般の共同化=シェアリング/伝票データ等の標準化
- 3) 倉庫スペースのリアルタイムマッチングとシェアリング

②トラック乗務員、労働環境の改善 (2020年度物流対応)

消費材などを扱う業界でのトラックドライバーの不足は、物流センター等での待機が要因の1つと考えられる。これらを改善するため、業界全体で待ち状態が可視化できる標準的な予約受付システムの導入のための検討を進めた。

③IoTによる物流資材管理

パレット、オリコン等の物流資材個体管理にRFIDを活用するに際し、単に資材そのものを管理するだけでなく、資材に搭載する商品を紐付けして管理し、荷主や物流業者の業務効率を向上させることができると期待される。このような観点から研究を進めることとした。

④省エネルギー (物流省エネ)

物流現場での省エネも、環境経営の視点から重要な課題となってい

る。現実問題として、中小企業においては現場管理者や作業者は実態を十分に把握していない状況であると考えられる。このため、平成29事業年度に物流現場検証と省エネ対策のマニュアルを作成すべく準備を進めることとした。

⑤AI (AI+ビッグデータ)

AI研究会では特にビッグデータを対象とし、各種データを可視化して課題解決のための未来予測・意思決定・企画立案などに役立つ手法開発を意図して、必要不可欠なデータ分析シナリオ(目的概要, 作業内容, 事例等)を整理し、成果物として分析シナリオシートを作成することとした。

⑥マテリアルハンドリング(MH)

平成29事業年度には、MHに関する事典を出版することを目標とし、活動を開始することとした。

⑦災害強靱化

緊急支援物資の物流に焦点を当てる。過去に発生した地震等の災害時の状況を確認すると、次第に改善されてきている部分はあるが、ラストワンマイルにおける対応は未だ改善が進んでいないという現状把握を行った。

◆教育事業

①ロジスティクス検定合格講座

平成28年10月より第18期ロジスティクス検定合格講座(28年度後期)を開講。東京校はロジスティクス管理2級, 3級およびロジスティクスオペレーション2級, 3級を、大阪校はロジスティクス管理3級及びオペレーション3級の講座を行った。また平成29年6月より第19期ロジスティクス検定合格講座(29年度前期)



アジア・シームレス物流フォーラム2017の受付風景

を開講している。

②講師派遣

会員企業3社からの依頼で、講師4人を派遣した。

◆広報及び普及啓発事業

①アジア・シームレス物流フォーラム2017

アジア・シームレス物流フォーラム2017を、平成29年5月18・19日の2日間、JMFIの主催により開催した。本フォーラムは、アジア地域における旺盛な物流需要に対応し、ロジスティクスの改善を目指して、情報共有や先端的な取り組みの紹介などを行うもので、学識経験者や政府関係者・団体・企業代表による講演、パネルディスカッション、関係企業による展示という構成であった。

流通研究社が2012年に第1回目を開催して以来、今回は第6回目の開催となるものであり、流通研究社に企画運営面での協力を得て実施した。セミナーのセッション数は24セ

ッション、来場者数は、昨年の約10%増の10,695名の来場者数となり、成果の大きな行事となった。

◆統計調査事業

(一社)日本物流システム機器協会(JIMH)の委託を受けてこの調査事業に取り組み、平成27年版のマテリアルシステム機器生産/生産出荷統計調査を実施して、報告書をJIMHへ納入した。

◆その他の事業

①会員交流の行事などの企画

異なった業種に属する会員相互の交流を図るための行事を企画検討した。

会員交流会を平成29年11月に実施すべく、会員への通知を行なった。

◆会員数について

設立総会時会員数 …………… 52社
平成28年度末会員数 …………… 72社